

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 61号

2013/08/12 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：一気に1年ぶりの高値水準に高騰。夏季休暇で産地筋の売りヘッジがないことも影響か！？

①週最高：12月 LDN 市場 £ 1,648 / 9月 NY 市場 \$2,480 (8/8、8/9) 先週比 **LDN+ £ 82/NY+\$-179**

②週最低：12月 LDN 市場 £ 1,595 / 9月 NY 市場 \$2,364 (8/5) 先週比 **LDN+ £ 58/NY+84**

週内価格差額 (①-②)：LDN 市場 £ 53 (傾向↑) / NY 市場 \$116 (傾向↑)

週内建玉推移：LDN市場 209932 枚(8/2 終了時)⇒213243 枚(8/8 終了時) **+3,311 枚**

NY 市場 173990 枚(8/2 終了時)⇒183091 枚(8/8 終了時) **+9,101 枚**

【今週の相場上昇について：参考情報】

*今週は一気に相場が高騰した、しかしながらカカオ豆の取引を行っている肌感覚では今週は既に欧州のトレーダーやバイヤーが休みに入っている所も多く、産地筋からの買いを受けて、市場で“売りヘッジ”をする取引がかなり少なく、静かな状況にあったように感じます。相場が急激に下がるまでの要因ではないにしても、今週の高騰の一端は、上記の状況に加えて、建て玉枚数の増加からも推測出来るように投資筋の“買い”が先行したことが背景にあると推測しています。

【8月5日(月)】ニューヨーク、ロンドンとも反発

ニューヨーク市場のココア先物は反発。カカオ豆主産地のコートジボワールでの低温・乾燥を受けた収穫高減少懸念に支援された。

9月きりは、73ドル高の**2364ドル**と反発して終了。一時は2391ドルと、5月9日以来、約3か月ぶりの高値まで値を上げた。ロンドン市場の12月きりも、40ポンド高の**1595ポンド**と反発して引けた。

【8月6日(火)】両市場とも続伸

両市場とも続伸。ニューヨーク市場の9月きりは、10ドル(0.4%)高の2374ドルで引けた。

2013～14年のコートジボワールのココア生産高見通しが下方修正されたことは、世界の市場で新たな供給逼迫(ひっばく)が起きる可能性を示しているとディーラーやアナリストらが指摘し、前日に

は4%超上昇していた。

この日の出来高は5万5000枚を上回り、250日間平均の2倍超の水準となった。9月きりの初回の受渡し通知日は19日。ロンドン市場の12月きりは、1ポンド高の1596ポンドで終了した。

【8月7日（水）】両市場とも続伸

ココア先物は続伸し、ロンドン、ニューヨーク市場とも数カ月ぶりの高値を付けた。カカオ豆主産地の西アフリカ諸国における天候懸念に支援された。ロンドン市場の12月きりは、35ポンド（2.2%）高の1631ドルで終了。一時は1635ポンドと、2012年9月28日以来、約10カ月ぶりの高値を付けた。

乾燥した天候により、西アフリカにおける収穫高が減少するとの懸念を背景に、1番ぎり、2番ぎりとも期先に対してプレミアムとなるバックワーデーションの状態が継続している。

ニューヨーク市場の9月きりは、68ドル（2.9%）高の2442ドルで終了。期先の12月きりは、8カ月ぶり高値の2468ドルを付けた。

【8月8日（木）】両市場とも続伸=コートジボワールからの供給懸念で

コートジボワールからの供給懸念を背景にロンドン、ニューヨーク両市場ともに続伸した。

ロンドン市場の12月きりは一時1671ポンドと、2番ぎりとしては2012年9月半ば以来、約11カ月ぶりの高値まで上伸。終値は17ポンド（1%）高の1648ポンドだった。

ニューヨーク市場の9月きりは24ドル（1%）高の2466ドルで終了。

ディーラーらは、コートジボワールのミッドクロップの港への着荷量が、事前予想を下回る可能性があるとの見方を示している。

あるベテランのカカオ豆ディーラーは、「今週の相場上昇は、コートジボワールでの乾燥天候が背景にある」と述べた上で、ファンドの買いが相場を押し上げていると指摘した。またマレックス・スペクトロンの農業部門の共同責任者、ジョナサン・パークマン氏は、「今回の乾燥期間は平年よりもかなり早く始まった。乾燥天候が平年通りの期間まで続き、生育中のメインクロップに打撃がおよぶことを懸念している」と述べた。

【8月9日（金）】NY続伸、ロンドンは反落

ニューヨーク市場が続伸、ロンドン市場は反落して引けた。

ニューヨーク市場の12月きりは1ドル高の2480ドルで終了。今週の上昇率は7.7%に達し、昨年8月以来の大きさとなった。コートジボワールの干ばつが支援材料だった。

アトランティック・キャピタル・パートナーズのシニアパートナー、ニック・ジェンタイル氏は「作物にストレスがかかっている。生産は予想ほど伸びないだろう」と述べた。ロンドン市場の12月きりは5ポンド（0.3%）安の1643ポンドで取引を終えた。

2、ガーナ・ライトクロップの集荷数量、7/25 までで 54%増の 41,465 トン(8/6)

ガーナカカオ産業の統括機関であるココボッドの今週月曜日の発表によると、7月初旬から開始したライトクロップの集荷数量が7月25日までで41,465トンとなり、前年対比で大きく増加したことが判明した。

ライトクロップシーズンがスタートしてからの3週間では前年の集荷数量26,909トンを54%も上回った。

7月25日で終了する1週間の集荷数量は3,872トンで前週の7149.9トンからは減少した。第1週については30,443トンを記録した。

ココボッドの担当者によれば、集荷数量が減少していく傾向は通常のことと、8月の初旬には集荷数量は安定する。『8月の末から収穫数量が上昇してくるまでは集荷数量はかなり落ち込むと予測』と担当者は話している。

ココボッドは7月-9月までのライトクロップシーズンでおよそ90,000トンのカカオ豆の集荷(購入)を見込んでおり、この原料は通常では少し割安な価格で国内の磨砕業者に販売されている。

ガーナはメインクロップとライトクロップの合計で今シーズン約850,000トンのカカオの集荷数量を計画しており、10月から6月までのメインクロップの集荷数量の合計は796,911トンであった。メインクロップは主に輸出向けにプレミアム価格で販売されている。

3、12～13年度のカカオ豆生産、前年比4%増加＝カメルーン(8/10)

カメルーンのココア・コーヒー委員会(NCCB)から9日入手した統計によると、2012～13年度の同国カカオ豆生産高は22万8948トンと、前年度(22万トン)比4%増加する見込み。12～13年度のカカオ豆輸出は19万6788トンとなり、前年度(18万0075トン)比9%超増加。7月31日時点のカカオ豆在庫は3355トンだった。

4、キャドバリー社はインドでの工場設立に100億ルピーを投資(8/7)

Mondelez Internationalのグループ企業であるチョコレート製造業のキャドバリー社は今週水曜日、インド南部にチョコレート工場を新たに設立する為に100億ルピー(約160億円)を投資すると発表した。この投資額は、工場全体の第一フェーズに対して使用される予定で、2015年の半ばまでに完成する見込みである。

この工場が完成すればアジア地域のキャドバリー社の工場の中では最大規模のものとなる予定。

5、ブラジルカカオ豆集荷数量前年対比で 55%減少 (8/7)

ブラジルの主要な産地からと海外からの輸入を合わせた集荷数量の合計が 5 月 1 日から 8 月 4 日までの合計で前年対比 55%減少となったとバヒア商業組合が発表した統計で判明した。

2013/14 シーズン集荷数量 2013 年 5 月 1 日～ 単位：60 k g 袋

<u>地域</u>	<u>前週</u>	<u>合計</u>
Bahia	38,683	513,092
Other states	26,057	304,421
Other nations	0	0
Total (袋)	64,740	817,513
Total (MT)	3,884	49,051

2012/13 シーズン集荷数量 2012 年 5 月 1 日～ 単位：60 k g 袋

<u>地域</u>	<u>前週</u>	<u>合計</u>
Bahia	62,721	1,121,379
Other states	31,230	507,676
Other nations	0	168,218
Total (袋)	93,951	1,797,273
Total (MT)	5,637	107,836

今週の関連記事) 中国、粉ミルク価格操作で内外 6 社に 1.1 億ドルの罰金支払い命令 (8/7)

中国は 7 日、乳児向け粉ミルクの価格操作と独占禁止法違反をめぐる調査の結果、米ミード・ジョンソンや仏ダノン、ニュージーランドのフォンテラなど 6 社に合計 1 億 1 0 0 0 万ドルの罰金支払いを命じた。

国家発展改革委員会 (NDR C) によると、対象企業は 3 社のほか米アボット・ラボラトリーズ、オランダのフリースランド、香港上場の合生元国際。

中国では、2008 年の粉ミルクへの有害物質混入事件を受けて国内メーカーの信頼が失墜。輸入ミルクの需要が高い。海外ブランドの市場シェアは約 50% を占め、国内製品の 2 倍以上の価格で販売されている。中国の粉ミルク市場は、2017 年までに 250 億ドル規模に拡大する見込み。

NDR C は、罰金は競争阻害や卸売業者に対する最低販売価格の制限などに対する措置と発表している。新華社によると、スイスのネスレや明治ホールディングス、中国のビーイングメイト (貝因美は、調査に協力して証拠を提出、自主的に価格を引き下げたことなどが評価され処罰の対象外とされた。

ミード・ジョンソンの罰金は 2 億 0 3 8 0 万元 (3 3 2 9 万ドル)、ダノンは 1 億 7 2 0 0 万元、合生元

国際は1億6290万元、アボットは7700万元、フリースランドは4800万元、フォンテラは400万元。

ミード・ジョンソン、合生元国際、アボット、フォンテラは当局の決定の受け入れを表明。ダノンとフリースランドのコメントは得られていない。

*特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております!!こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp